

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート

【長野市安全・安心・快適な街路整備に関する推進計画】  
(社会資本整備総合交付金)

長野県 長野市

平成30年12月

計画の名称	長野市安全・安心・快適な街路整備に関する推進計画																															
計画の期間	平成27年度～平成28年度(2年間)			交付対象	長野県長野市																											
計画の目標	人口減少社会に対応するコンパクトな都市構造(集約都市構造)のために、「都市拠点」をつなぐ幹線街路の整備を実施。																															
計画の成果目標(定量的指標)	市街化区域内における都市計画道路整備率 = $\Sigma(\text{整備済み延長}) / (\text{都市計画道路延長})$																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 市街化区域内における都市計画道路整備率 = <math>\Sigma(\text{整備済み延長}) / (\text{都市計画道路延長})</math></td> <td>59.9%</td> <td></td> <td>59.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27)	中間目標値	最終目標値 (H28末)	① 市街化区域内における都市計画道路整備率 = $\Sigma(\text{整備済み延長}) / (\text{都市計画道路延長})$	59.9%		59.9%											
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値 (H27)	中間目標値	最終目標値 (H28末)																													
① 市街化区域内における都市計画道路整備率 = $\Sigma(\text{整備済み延長}) / (\text{都市計画道路延長})$	59.9%		59.9%																													
全体事業費	合計 (A+B+C)	8,294.百万円	A	8,294.百万円	B	.百万円	C	.百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$	0.0%																						

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設 計画 策定状況	備考
											H27	H28							
A-1	街路	一般	長野市	直接		S街路	改築	北部幹線	道路新設 L=660m W=22~31m	長野市					3,367	1.3		別計画への移行により未 完成(別計画で継続実施)	
A-2	街路	一般	長野市	直接		S街路	改築	川中島幹線	道路新設 L=600m W=16	長野市					2,500	1.3	-	別計画への移行により未 完成(別計画で継続実施)	
A-3	街路	一般	長野市	直接		S街路	改築	山王小柴見線	道路新設 L=300m W=16m	長野市					1,600	1.5	○	別計画への移行により未 完成(別計画で継続実施)	
A-4	街路	一般	長野市	直接		S街路	改築	県庁緑町線	道路新設 L=150m W=9m	長野市					827	1.4	-	別計画への移行により未 完成(別計画で継続実施)	
小計														8,294					

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H27	H28						

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H27	H28						
合計														0.0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・当初計画はH31年度までの5年間の計画だったが、防災・安全事業に移行したことによりH28年度までの2年間の計画としたため、未完成ではあったものの、各事業については進捗が図れ、集約都市構造に寄与した。		
II 定量的指標の達成状況	指標①（市街化区域内における都市計画道路整備率 ＝ $\Sigma$ (整備済み延長)/(都市計画道路延長)	最終目標値	59.9%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	59.9%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度まで計画に載っていた北部幹線はH28年度の事業によって一部区間の供用が開始されたことで病院までのアクセスが容易になった。</li> <li>・「都市拠点」をつなぐ幹線街路の整備が進んだことにより人口減少社会に対応する集約都市構造に寄与した。</li> </ul>		
3. 特記事項（今後の方針等）				
・ 未成事業の早期着手・完成を図る。				

(参考図面)

